

# 郷土愛山形屋

課題: お客さんが「なぜ山形屋に行きたくなるか」を探る。

山形屋のこだわり:

①料理: 「地産地賞」地元のものを讃え、地元のものの特長を活かす。

「身土不二」

毎月お料理ミーティングをし、中居さん全員が説明できるように。

②設備: 「チャコールバーテン」(低温サウナ)

「子宝の湯」子育て地蔵 ☺

「炭」マイナスイオンパワー!

③おもてなし: 「マニュアル通りにやらない」

「お客さんをよむ」

毎日ミーティングをして情報を共有。

社長の理念: 郷土愛を貫き、感動を与える。

お客さんの声: 『なぜ山形屋に来たいと思いましたか。』

- ・料理もおいしいし、雰囲気もいいから。
- ・毎年来ているから。
- ・楽しい思い出があるから。
- ・なんとなく。

# 最終報告

5期生 高瀬絵梨香

## <研修内容>

- ・ 全体研修
- ・ ライダース手伝い
- ・ 講演（星野リゾート経営方針・web戦略・社員育成・地産地消）
- ・ 厨房
- ・ 8プロ会議
- ・ 源泉ツアー
- ・ 熱塩加納地域づくり会議
- ・ 和歌山大教授 大澤先生の講演会
- ・ 風呂掃除
- ・ 部屋掃除
- ・ ベッドメイキング
- ・ 農家取材（5件）
- ・ ワイン絞り
- ・ お料理講習

・ 喜多方めぐり (夢心・甲斐・せんべい屋・喜多方市役所)

・ 極上の会津推進委員会

・ 朝食準備

・ 招待給食

・ 喜多方モニターツアー

・ 熱塩小学校取材 (校長・農業支援員・6年生発表)

・ 喜多方喜楽里博 会議

・ フロント

・ FM 喜多方

#### <考察>

今回の研修は私にとってとても大きな収穫ばかりでした。喜多方の地域づくりを最前線で頑張っている人たちに会いに行き、それぞれの方の目線から喜多方に対する思いを聴けたことがとても勉強になりました。たくさんの人に出会い、人生のいろ  
はまで教えていただきました。この経験を将来私が地元に戻り、地域づくりに携わるときに大いに活かせることと思います。



# 学校の力点

1 元気に登校、元気に下校 2 農の力と食の力 3 発表力と人前力



元気に登校  
元気に下校



(食・すいみん)家庭

子どもたちが学校生活を元気に過ごし、元気な「ただいま」を保障することが第一の仕事です。保護者・地域の皆さんや行政の方々と連携し、安全な登下校に取り組みます。



農の力と食の力



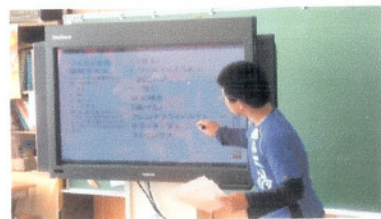
農を中心に  
学力(知・体・徳)  
を上げる。

本校の特色は、農業科を教育施策の中心に据え、学力向上策の柱とする研究を始めたことです。具体的には、農業体験を通し「なぜだろう」「どうしてだろう」と疑問に思ったことや不思議に感じたことを自ら「調べ、探求する」ことで「わかる楽しさ」や「解決するおもしろさ」を学ばせることです。そして、その課題解決学習の過程をいかに各教科の学習に生かすか、つまりは、農業科と各教科、そして食の横断的融合を図り、農業体験を通して学力を高めたいと考えます。

友・地域・自然  
との関わり。  
成長(6年間)  
人間づくり。



発表力と人前力



学校は、発見力・追求力・表現力を課題解決力と捉え、課題を見つけ、調べ追求し、理解する、そして発表するという一連の過程を大切にしています。発表に至るまでには、調べ得た情報を知識として整理し、考えを精査して組み立てなければなりません。そして、組み立てた考えに根拠を示し、人前で説明できることを発表力とし、一つの表現力と捉えました。今後も、「分かったこと」「発表」し、「伝える」ことを重視した取り組みを継続して参ります。

2011.2 学校長

